

<ジーコム独自調査レポート No.116>

福岡県居住者の食事に関する調査

2018年9月



調査概要

1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上男女

3. 調査時期

2018年7月13日（金）～7月20日（金）

4. 調査規模

602サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	251	41.7
女性	351	58.3
全体	602	100.0

■年代	件数	構成比(%)
20代	55	9.1
30代	104	17.3
40代	128	21.3
50代	135	22.4
60代以上	180	29.9
全体	602	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡市内	334	55.5
市外都市圏	138	22.9
その他福岡県	130	21.6
全体	602	100.0

■未既婚	件数	構成比(%)
未婚(離死別含む)	145	24.1
既婚	457	75.9
全体	602	100.0

【報告書の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

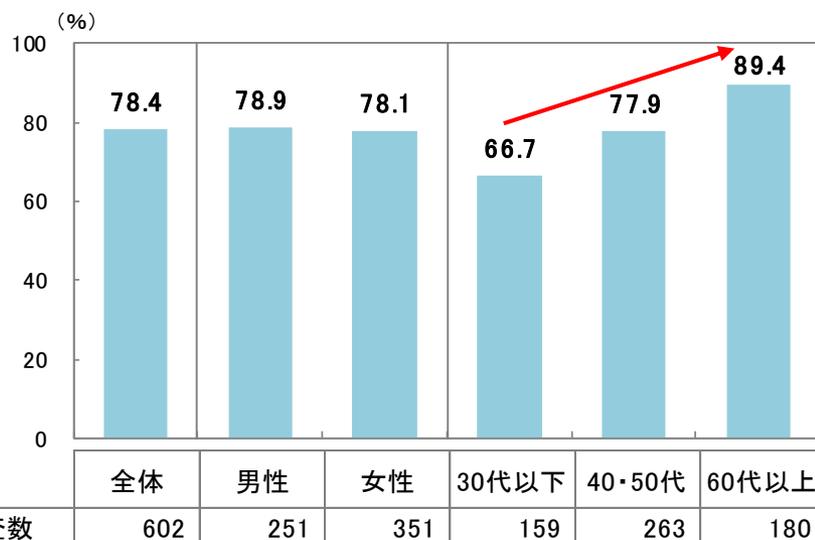
1. 食事摂取状況

比較的時間に余裕のある高齢層は他の年代より「朝食」を毎日食べる人の割合が高い。

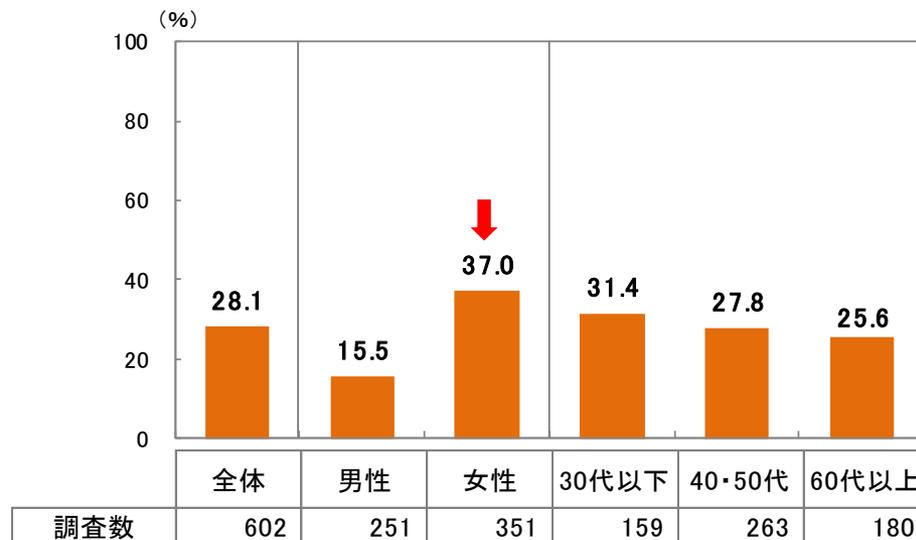
毎日食べる人の全体の割合は「朝食」で78.4%、「間食・おやつ」で28.1%である。

- ・性別で見ると、女性は男性に比べて「間食・おやつ」を毎日食べる人の割合が高い。
- ・年代別では、年代が上がるにつれて「朝食」を毎日食べる人の割合は高くなっている。

◆ <朝食> 毎日食べる人の割合【単一回答】



◆ <間食・おやつ> 毎日食べる人の割合【単一回答】



2. 中食の利用状況

約9割がここ1か月間で中食を利用。

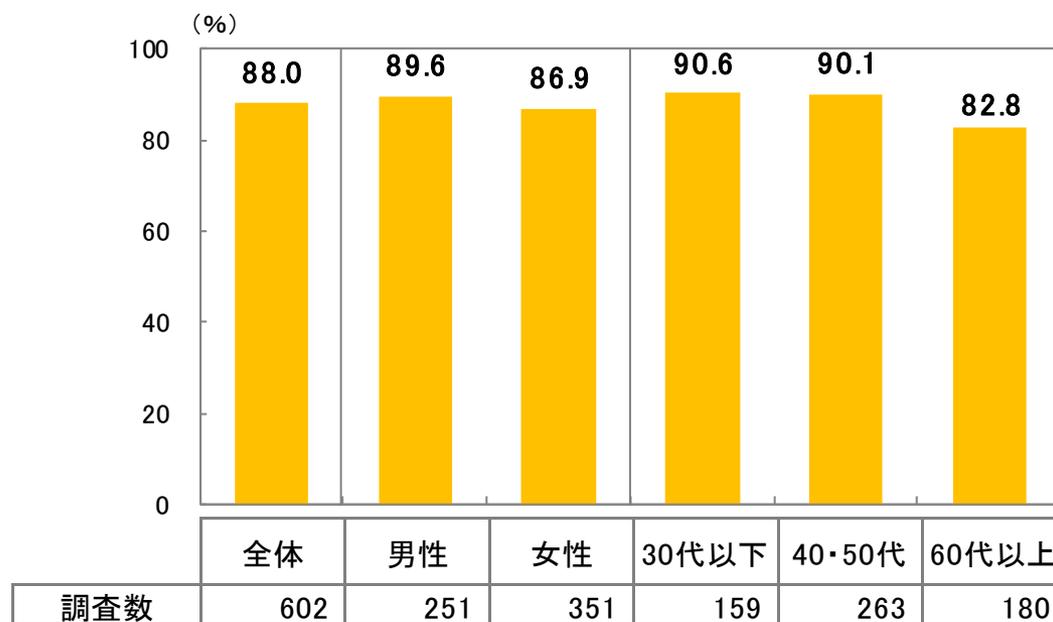
高年齢層は他の年代に比べて「コンビニ」「ファストフード店」「弁当・総菜の専門店」の中食利用が少ない。

ここ1か月間の中食利用率は全体で88.0%である。

・性別や年代別で大きな差は見られない。

※中食（なかしょく）：調理済みの食品（総菜や弁当、おにぎり、サンドイッチなど）を購入し、自宅や職場・学校などで食べること

◆ 1か月間の中食利用率



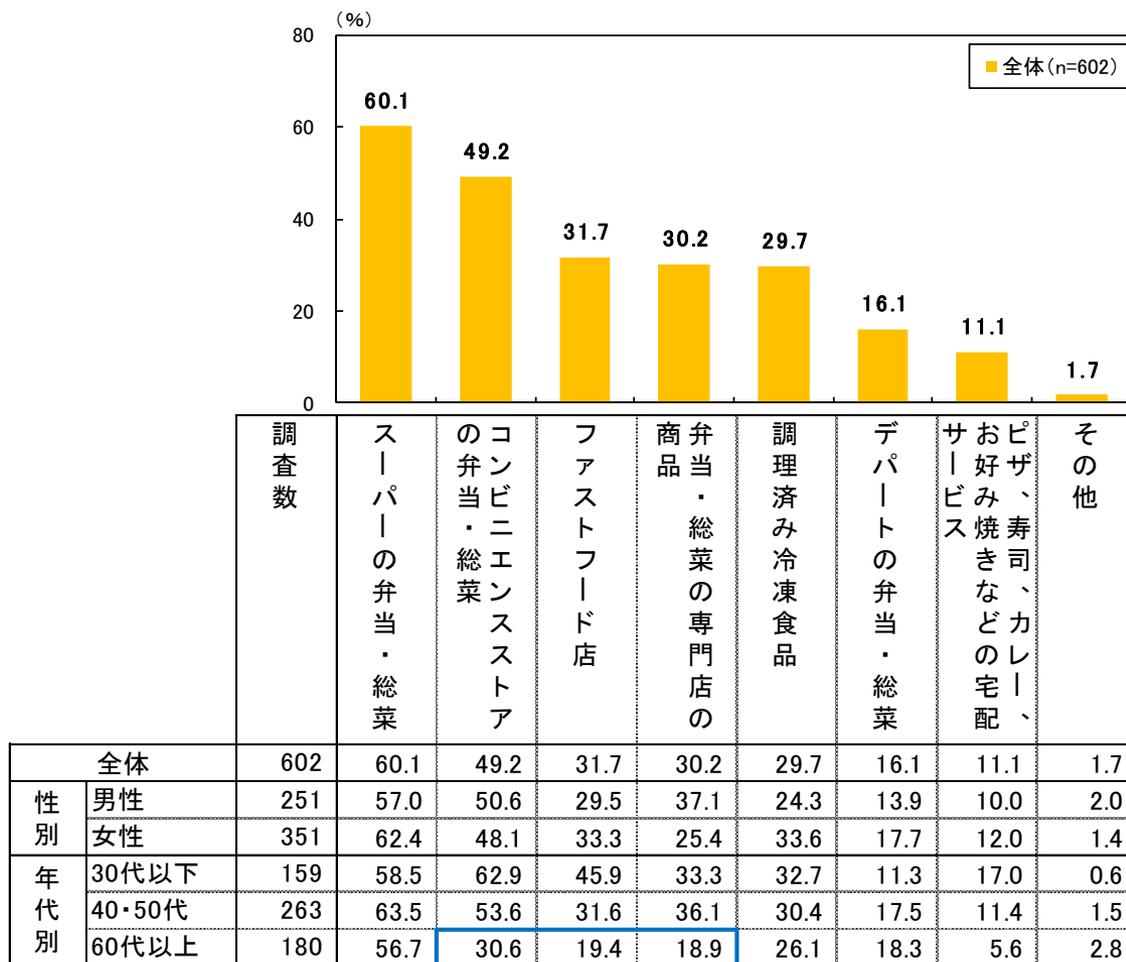
* 1か月間の中食利用率: 全体から「この1か月は利用していない」の割合を差し引いた数

2. 中食の利用状況

ここ1か月間の中食利用は、「スーパーの弁当・総菜」が60.1%で最も高く、次いで「コンビニエンスストアの弁当・総菜」49.2%、「ファストフード店」31.7%の順である。

・年代別で見ると、60代以上は「コンビニエンスストアの弁当・総菜」、「ファストフード店」、「弁当・総菜の専門店の商品」の割合が低い。

◆中食の利用状況【複数回答】



発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4丁目1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221

FAX 092-761-0228

URL : <https://www.gcom-net.co.jp/>

E-mail : inq@gcom-net.co.jp